

ご 注 意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

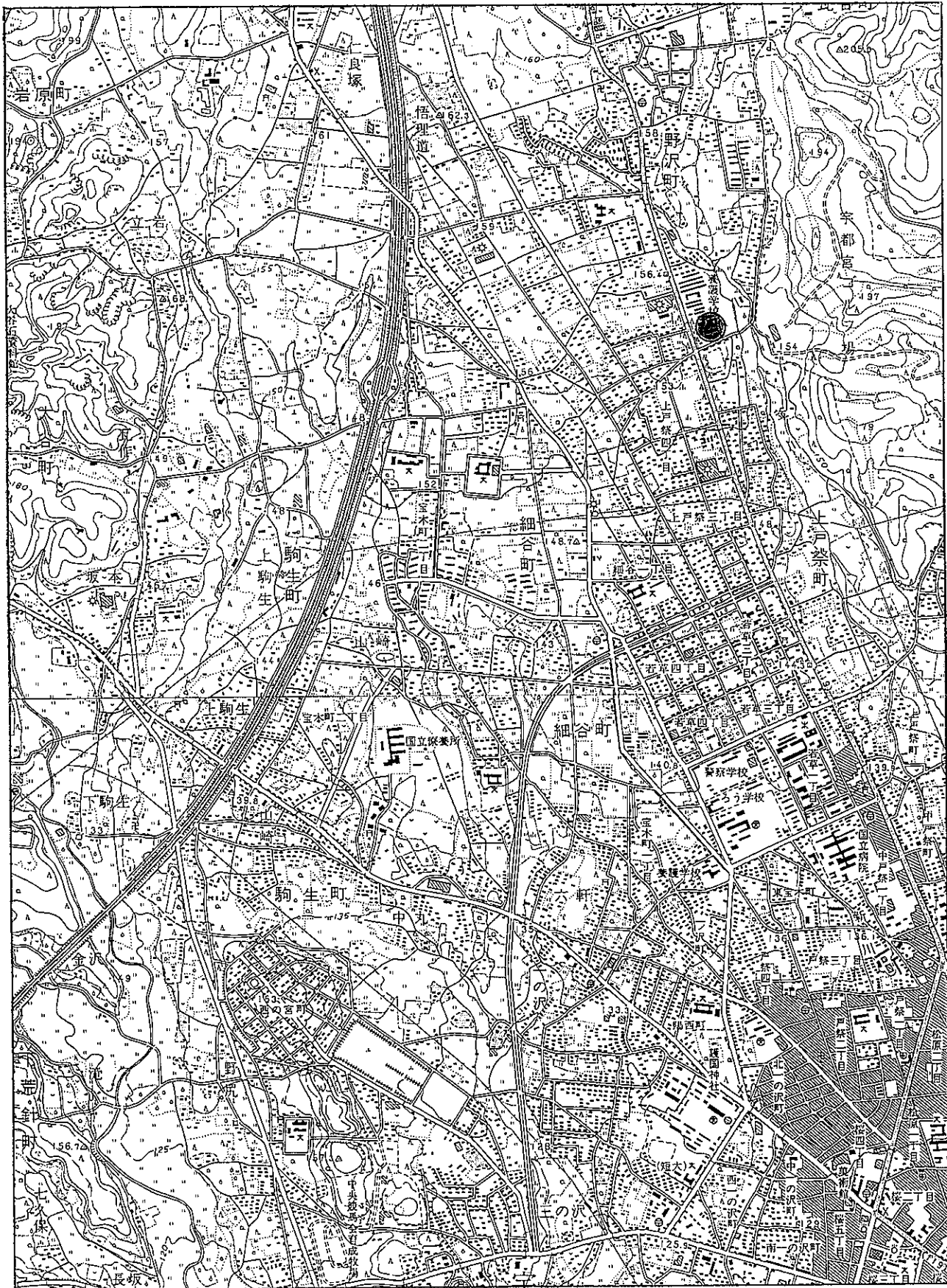
したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課

2. 調査位置図

2-1 案内図

S=1:25,000



ボーリング柱状図

調査名 栃木県婦人総合センター（仮称）敷地地質調査

ボーリングNo. 0503801

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1		調査位置	宇都宮市野沢町三の沢地内			北緯
発注機関	栃木県婦人青少年課			調査期間	平成 4年12月 1日～ 4年12月 2日		東経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コ ア	ボーリング責任者	
孔口標高	154.42m	角	180°上 90° 180°下	方	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	10.04m	度		向		使用機種	
						試験機	カノ KR-100
						エンジン	ヤンマー NF80
						ハンマー落下用具	コーンブーリー
						ポンプ	カノ-V6-S

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日	
									深	10cmごとの	打撃回数	N 値						
153.82	0.60	0.60	埋土	黒褐色				礫、粗砂混る黒ボク主体で軟らかい	1.15	1	2	2	5					
152.92	0.90	1.50	埋土	黒褐色				腐植物混入 有機質に富み軟らかい	1.45									
			ローム	褐色				1.5~1.9m 赤褐色の軽石を多量に混入	2.15	1	1	1	3					
			ローム	褐色				3.10m~スコリア多く混る	2.55	1	1	1	3					
150.82	2.10	3.60	軽石	黄褐色				鹿沼軽石 φ2~10mm程度の粒状を呈す	3.15	2	2	2	6					
			軽石	黄褐色				多孔隙で高含水 軟弱である	3.45									
149.72	1.10	4.70	ローム	褐色				含水大 スコリア、粗砂を混入	4.15	1	1	1	3					
149.22	0.50	5.20	砂	灰褐色				φ2~75mm程度の円、垂円礫を主体とする	4.46	1	49	1	50					
			砂	灰褐色				所々φ100~300mm程度の玉石を混入する	5.15									
			砂	灰褐色				礫間は粘土、砂により密に充填されている	5.26	26	24	4	50					
			砂	灰褐色				7.8~8.4m間粗砂の混入が多い	6.15									
			砂	灰褐色				8.5m以深 礫径φ2~50mm程度のものを主体	6.29	25	25	6	50					
			砂	灰褐色					7.10									
			砂	灰褐色					7.31									
			砂	灰褐色					8.15	10	13	27	50					
			砂	灰褐色					8.42									
			砂	灰褐色					9.15	21	29	3	50					
			砂	灰褐色					9.28									
			砂	灰褐色					10.00	50	4		50					
144.38	4.84	10.04							10.04									

<凡例>

柱状図および土質区分

試料採取方法

第1分類

区分	分類名	図様
土質	礫 (C)	○
	礫質土 (GF)	○●
	砂 (S)	●
	砂質土 (SF)	●○
	シルト (M)	—
	粘性土 (C)	—
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
高有機質土 (腐植土) (Pt)		

第2分類

区分	分類名	図様
補助記号	砂質 (S)	●
	シルト質 (M)	—
	粘土質 (C)	—
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混り (-B)	○●
	砂利、礫混り (-G)	○●
	砂混り (-S)	●
	シルト混り (-M)	—
	粘土混り (-C)	—
有機質土混り (-O)		
火山灰混り (-V)		
貝殻混り (-Sh)	○●	

第3分類

区分	分類名	図様
岩石	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
	玉石 (B)	○●
特殊材料	浮石 (軽石) (Pm)	△△
	シラス (Si)	△△
	スコリア (Sc)	▲▲
	火山灰 (VA)	▲▲
材料	ローム (Lm)	
	黒ボク (Kb)	
	マサ (WG)	
表土 (Ss)		
埋土 (Fi)		
廃棄物 (W)		

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ ()による

備考

ボーリング柱状図

調査名 栃木県婦人総合センター（仮称）敷地地質調査

ボーリングNo. 0503802

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	N o . 2		調査位置	宇都宮市野沢町三の沢地内		北緯	
発注機関	栃木県婦人青少年課		調査期間	平成 4年11月 5日～ 4年11月13日		東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	153.84m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0°
総掘進長	24.25m	度		向		使用機種	
						試験機	カノ KR-100
						エンジン	ヤンマーNF80
						ハンマー落下用具	コーンブーリー
						ポンプ	カノ-V6-S

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日	
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量	N 値						
153.14	0.70	0.70	▲▲▲▲	黒ボク	黒褐			有機質に富む 植物根混入 軟らかい	1.15	1	2	37						
151.24	1.90	2.60	▲▲▲▲	ローム	褐			均質なローム 粘性中位 含水大 2.40m以深軽石を混入	1.52	1	4	32						
150.14	1.10	3.70	▲▲▲▲	軽石	黄褐			磨沿軽石 φ2~5mm程度の粒状を呈す 多孔質であり高含水	2.47	1	2	32						
149.14	1.00	4.70	▲▲▲▲	ローム	褐			粘性中位 均質である	3.15	1	2	32						
			●●●●	砂	暗褐			φ2~75mm程度の円、亜円礫を主体とする 所々φ100~200mm程度の玉石を混入 玉石は石英斑岩、花崗斑岩等の硬質なものが多い 礫間は主に粗砂により充填されるが不規則に粘土を混入 6.5m以深漏れ水の逸水が顕著である 16.8m付近で完全逸水する 19.9~20.2m間 粘土を多量に混入する 20.2m以深 礫はφ2~50mm程度のもの主体とする 堆積状態は密実である	4.15	1	3	30						
			●●●●	砂	暗褐				非常に密な	4.55	1	3	30					
			●●●●	砂	暗褐					5.00	3	5	15					
			●●●●	砂	暗褐					5.03	43	7	12					
			●●●●	砂	暗褐					6.15	39	11	13					
			●●●●	砂	暗褐					6.27	43	7	12					
			●●●●	砂	暗褐					7.15	22	28	15					
			●●●●	砂	暗褐					7.28	23	27	17					
			●●●●	砂	暗褐					8.15	41	9	13					
			●●●●	砂	暗褐					8.27	25	25	14					
			●●●●	砂	暗褐				9.15	50	8	8						
			●●●●	砂	暗褐				9.30	50	9	9						
			●●●●	砂	暗褐				10.15	42	8	12						
			●●●●	砂	暗褐				10.32	50	5	5						
			●●●●	砂	暗褐				11.15	23	27	12						
			●●●●	砂	暗褐				11.28	50	8	8						
			●●●●	砂	暗褐				12.15	50	7	7						
			●●●●	砂	暗褐				12.29	50	8	8						
			●●●●	砂	暗褐				13.00	50	8	8						
			●●●●	砂	暗褐				13.08	50	9	9						
			●●●●	砂	暗褐				14.15	50	9	9						
			●●●●	砂	暗褐				14.24	42	8	12						
			●●●●	砂	暗褐				15.00	50	5	5						
			●●●●	砂	暗褐				15.12	50	5	5						
			●●●●	砂	暗褐				16.00	23	27	12						
			●●●●	砂	暗褐				16.05	50	8	8						
			●●●●	砂	暗褐				17.15	50	7	7						
			●●●●	砂	暗褐				17.27	50	8	8						
			●●●●	砂	暗褐				18.00	50	8	8						
			●●●●	砂	暗褐				18.08	50	10	10						
			●●●●	砂	暗褐				19.15	23	11	16	24					
			●●●●	砂	暗褐				19.25	17	33	18						
			●●●●	凝灰岩	黄灰			21.2~22.4m 風化顕著で黄灰色を呈す	20.15	23	11	16	24					
			●●●●	凝灰岩	黄灰			22.4m以深未風化で青灰色となる	20.39	17	33	18						
			●●●●	凝灰岩	黄灰			送水掘によるコアは棒状を呈すが岩質は軟質である	21.15	30	20	15						
			●●●●	凝灰岩	黄灰			標準貫入試験による試料は固結片状を呈す	21.33	50	7	7						
			●●●●	凝灰岩	黄灰			N>50と安定した強度を得ている	22.15	50	7	7						
			●●●●	凝灰岩	黄灰				22.30	50	10	10						
			●●●●	凝灰岩	黄灰				23.15	50	10	10						
			●●●●	凝灰岩	黄灰				23.22	50	10	10						
			●●●●	凝灰岩	黄灰				24.15	50	10	10						
			●●●●	凝灰岩	黄灰				24.25	50	10	10						

ボーリング柱状図

調査名 栃木県婦人総合センター（仮称）敷地地質調査

ボーリングNo. 0503803

事業・工事名 _____

シートNo. _____

ボーリング名	No. 3	調査位置	宇都宮市野沢町三の沢地内			北緯	
発注機関	栃木県婦人青少年課		調査期間	平成 4年11月25日～ 4年11月26日		東経	
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者		
孔口標高	150.87m	角		方	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	使用機種
総掘進長	9.21m	度		水平0°	試錐機	カノ KR-100	ハンマー落下用具
				エンジン	ヤンマー NF80	ポンプ	カノーV6-S

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				N 値	原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日	
									深	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量	深							
1	0.80	0.80		軽石赤褐色	黒褐色			有機質に富み軟らかい	1.15	1	1	2	4						
2	1.10	1.10		ローム	褐色			粘性中位 含水大 軽石、炭化物、スコリア混る 下部に軽石の混入多い	2.15	1	1	2	30						
3	2.10	3.20		軽石	黄褐色			軽石 粒径φ3~5mm程度の粒状を多量に含む	3.15	1	1	1	3						
4	0.70	3.90		砂	灰褐色			φ2~75mm程度の円、亜円礫を主体とする 所々φ100~150mm程度の玉石を点在する 礫間は砂を主体に充填される また粗砂を薄層状に挟在する 6.5m以深層削水の逸水が顕著である 7.5m付近粘土を多く混入	4.15	15	20	15	50						
5				砂	灰褐色				5.15	8	9	17	34						
6				砂	灰褐色				6.15	39	11	5	50						
7				砂	灰褐色				7.15	50			50						
8				砂	灰褐色				8.15	40	10	1	50						
9	5.31	9.21		砂	灰褐色				9.15	50	6		50						
10				砂	灰褐色				9.21										

〈凡例〉

柱状図および土質区分

試料採取方法

第1分類

区分	分類名	図様
土質	礫 (G)	
	礫質土 (GF)	
	砂 (S)	
	砂質土 (SF)	
	シルト (M)	
	粘性土 (C)	
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
高有機質土(腐植土) (Pt)		

第2分類

区分	分類名	図様
補助記号	砂質 (S)	
	シルト質 (M)	
	粘土質 (C)	
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混り (-B)	
	砂利、礫混り (-G)	
	砂混り (-S)	
	シルト混り (-M)	
	粘土混り (-C)	
有機質土混り (-O)		
火山灰混り (-V)		
貝殻混り (-Sh)		

第3分類

区分	分類名	図様
岩石	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
	玉石 (B)	
特殊	浮石(軽石) (Pm)	
	シラス (Si)	
	スコリア (Sc)	
	火山灰 (VA)	
材料	ローム (Lm)	
	黒ボク (Kb)	
	マサ (WG)	
表土 (Ss)		
埋土 (Ft)		
廃棄物 (W)		

- ① シンウォールサンブラーによる
- ② デニソンサンブラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンブラーによる
- ⑤ () による

備考

ボーリング柱状図

調査名 栃木県婦人総合センター（仮称）敷地地質調査

ボーリングNo. 0503804

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 4		調査位置	宇都宮市野沢町三の沢地内		北緯	
発注機関	栃木県婦人青少年課			調査期間	平成 4年12月 2日 ~ 4年12月 3日	東経	
調査業者名	主任技師			現場代理人	コ ア	ボーリング責任者	
孔口標高	154.03m	角	180°上	方	北 0° 90°東 270°西 180°南	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	10.42m	度	0°	向		使用機種	
						試験機	カノ KR-100
						ハンマー落下用具	コーンブーリー
						エンジン	ヤンマーNF80
						ポンプ	カノ-V6-S

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値						
153.53	0.50	0.50	埋土	黒土	黒褐色			腐植物、軽石混る黒ボク主体	1.15	2	2	2	6					
152.53	1.00	1.50	黒ボク	黒褐色		中		有機質に富み軟らかい 1.2m~軽石混入 暗褐色を呈す	1.45				6					
151.33	1.20	2.70	ローム	褐色		軟らかい		粘性中位 含水大 少量の軽石、炭化物を混入する	2.15	1	1	1	3					
150.23	1.10	3.80	軽石	黄褐色		軟らかい		鹿沼軽石 φ3~10mm程度の粒状を呈す 多孔質で含水大	2.50				3					
149.33	0.90	4.70	ローム	褐色		軟らかい		粘性、含水大でやや粘土質を呈す 砂分の混入やや多い	3.15	1	1	1	2					
									3.46									
									4.15	1	1	2	4					
									4.50	50	9	50	9					
									5.14									
									6.10	28	22	5	50	15				
									6.25									
									7.15	23	27	6	50	16				
									7.31									
									8.15	14	36	7	50	17				
									8.32									
									9.00	50	8		50	8				
									9.08									
									10.15	12	21	17	50	27				
									10.42									

<凡例>

柱状図および土質区分

試料採取方法

第1分類

区分	分類名	図様
土質	礫 (C)	○
	礫質土 (GF)	○●
	砂 (S)	●
	砂質土 (SF)	●●
	シルト (M)	—
	粘性土 (C)	—
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	
高有機質土 (腐植土) (P)		

第2分類

区分	分類名	図様
土質	砂質 (S)	●
	シルト質 (M)	—
	粘土質 (C)	—
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	
	玉石混り (-B)	○●
	砂利、礫混り (-G)	○●
	砂混り (-S)	●
	シルト混り (-M)	—
	粘土混り (-C)	—
有機質土混り (-O)		
火山灰混り (-V)		
貝殻混り (-Sh)	○●	

第3分類

区分	分類名	図様
岩石	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
	玉石 (B)	○●
特殊	浮石 (軽石) (Pm)	△△
	シラス (Si)	△△
	スコリア (Sc)	▲▲
	火山灰 (VA)	▲▲
	ローム (Lm)	▲▲
マ	黒ボク (Kb)	
	サ (WG)	
表	土 (Sa)	
埋	土 (Fi)	
廃棄物 (W)		

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ ()による

備考

ボーリング柱状図

調査名 栃木県婦人総合センター（仮称）敷地地質調査

ボーリングNo. 0503805

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 5		調査位置	宇都宮市野沢町三の沢地内			北緯
発注機関	栃木県婦人青少年課			調査期間	平成 4年12月 2日 ~ 4年12月 3日		東経
調査業者名	主任技師			現場代理人	コ ア 鑑定者		ボーリング責任者
孔口標高	152.83m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	11.23m	度		使用機種	試錐機	カノ KR-100	ハンマー落下用具
				エンジン	ヤンマー NF80	ポンプ	コーンブーリー
							カノ-V6-S

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試料採取		室内試験	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	深 (m)		試験名	深 (m)	採取方法				
1	151.23	1.60	1.60	盛土	暗褐	中位		上部20cmアスファルト舗装砕石 0.2m~礫混じり粘土主体の盛土 不燃物混入	1.15	1	2	5	8							
2	150.03	1.20	2.80	黒ボク	黒褐	軟らかい		有機質に富み軟らかい 下部、赤褐色の今市軽石を混入する	2.15	1	1	1	3							
3				ローム	褐	軟らかい		粘性中位 含水大 軽石、炭化物、スコリア混る 下部に軽石の混入多い 4.7m以深 凝灰質砂となる	2.48	1	1	1	3							
4				ローム	褐	軟らかい		粘性中位 含水大 軽石、炭化物、スコリア混る 下部に軽石の混入多い 4.7m以深 凝灰質砂となる	3.15	1	1	1	3							
5	147.93	2.10	4.90	軽石	黄褐	軟らかい		鹿沼軽石 φ3~5mm程度の粒状 を呈す 多孔質で含水大	3.47	1	1	1	3							
6	146.93	1.00	5.90	ローム	褐	軟らかい		含水大で粘土質を呈す	4.15	1	1	1	3							
7	146.93	0.30	6.20						4.47	1	1	1	3							
8				砂	灰褐	密な		φ2~7.5mm程度の円、亜円礫を 主体とする 所々φ100~150mm程度の玉 石を点在する 礫間は砂を主体に充填されるが所々 粘土を不規則に挟在する	5.15	1	1	1	3							
9									5.45	1	1	1	3							
10									6.15	1	9	15	25							
11	141.60	5.03	11.23						6.45	20	14	10	44							
12									7.15	29	21	3	50							
									8.00	50			50							
									8.13	50			50							
									9.00	50			50							
									9.10	50			50							
									10.15	50			50							
									10.23	50			50							
									11.15	50			50							
									11.23											

凡例

柱状図および土質区分

試料採取方法

第1分類

区分	分類名	図様
土質	礫 (C)	●●●●
	礫質土 (CF)	●●●●○
	砂 (S)	●●●●
	砂質土 (SF)	●●●●○
	シルト (M)	-----
	粘性土 (C)	=====
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘土 (V)	~~~~~
高有機質土(腐植土) (Pt)		

第2分類

区分	分類名	図様
土質	砂質 (S)	●●●●
	シルト質 (M)	-----
	粘土質 (C)	=====
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	~~~~~
	玉石混り (-B)	○●●●
	砂利、礫混り (-G)	●●●●
	砂混り (-S)	●●●●
	シルト混り (-M)	-----
	粘土混り (-C)	=====
有機質土混り (-O)		
火山灰混り (-V)	~~~~~	
貝殻混り (-Sh)	○●●●	

第3分類

区分	分類名	図様
岩石	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
特殊土	玉石 (B)	○●●●
	浮石(軽石) (Pm)	△△△△
	シラス (Si)	△△△△
	スコリア (Sc)	△△△△
	火山灰 (VA)	△△△△
	ローム (Lm)	△△△△
	黒ボク (Kb)	△△△△
	マサ (WC)	△△△△
	表土 (Ss)	△△△△
	埋土 (FI)	△△△△
廃棄物 (W)	△△△△	

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ ()による

備考

ボーリング柱状図

調査名 栃木県婦人総合センター（仮称）敷地地質調査

ボーリングNo. 0503807

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調整池 No. 1	調査位置	宇都宮市野沢町三の沢地内			北緯	
発注機関	栃木県婦人青少年課		調査期間	平成 4年11月26日～ 4年11月30日		東経	
調査業者名		主任技師	現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	151.04m	角	180°上 90° 180°下	方	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	水平 0°
総掘進長	9.43m	度		向		使用機種	試験錐機 エンジン
							カノ KR-100 ハンマー落下用具 ポンプ
							コーンブーリー カノーV6-S

標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値					
150.44	0.60	0.60		埋土 黒褐色				軽石、ローム混る黒ボク主体	1.15	1	1	2	30				
149.44	1.00	1.60		埋土 黒ボク				植物根混入 有機質に富み軟らかい	1.45	1	1	2	30				
149.14	0.30	1.90		軽石 赤褐色				今市軽石 多孔質で高含水	2.15	1	1	2	38				
147.44	1.70	3.60		ローム				粘性中位、高含水 炭化物、軽石を混入	2.53	1	1	2	35				
									3.15	1	1	2	35				
									3.50	1	1	2	35				
									4.15	27	23	50	19				
									4.34								
									5.15	10	17	17	44				
									5.45								
									6.15	10	19	19	48				
									6.45								
									7.15	14	21	15	50				
									7.45								
									8.15	17	18	15	50				
									8.44								
									9.15	14	20	16	50				
									9.43								

凡例

柱状図および土質区分

第1分類

区分	分類名	図様
土質	礫 (C)	●●●●
	礫質土 (CF)	●●●●○
	砂 (S)	●●●●
	砂質土 (SF)	●●●●○
	シルト (M)	-----
	粘性土 (C)	=====
	有機質土 (O)	
	火山灰質粘性土 (V)	~~~~~
高有機質土 (腐植土) (Pl)		

第2分類

区分	分類名	図様
補記	砂質 (S)	●●●●
	シルト質 (M)	-----
	粘土質 (C)	=====
	有機質 (O)	
	火山灰質 (V)	~~~~~
	玉石混り (-B)	○●●●
	砂利、礫混り (-G)	●●●●
	砂混り (-S)	●●●●
	シルト混り (-M)	-----
	粘土混り (-C)	=====
有機質土混り (-O)		
火山灰混り (-V)	~~~~~	
貝殻混り (-Sh)	○●●●	

第3分類

区分	分類名	図様
岩石	硬岩 (HR)	
	中硬岩 (MR)	
	軟岩、風化岩 (WR)	
	玉石 (B)	○●●●
特殊	浮石 (軽石) (Pm)	○●●●
	シラス (Si)	△△△△
	スコリア (Sc)	▲▲▲▲
	火山灰 (VA)	△△△△
材料	ローム (Lm)	
	黒ボク (Kb)	
	マサ (WC)	
表	土 (Sa)	
埋	土 (Fl)	
廃棄物 (W)		

試料採取方法

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ () による

備考

ボーリング柱状図

調査名 栃木県婦人総合センター（仮称）敷地地質調査

ボーリングNo. 0503808

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	調整池 No. 2	調査位置	宇都宮市野沢町三の沢地内			北緯
発注機関	栃木県婦人青少年課		調査期間	平成 4年11月26日～ 4年12月 1日		東経
調査業者名	主任技師		現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者	
孔口標高	151.43m	角	180°上 90° 180°下	方	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配 水平 0°
総掘進長	9.45m	度	90°	向	北 0° 270°西 90°東 180°南	使用機種 試験機 エンジン
			試験機	カノ KR-100	ハンマー落下用具	コーンブーリー
			エンジン	ヤンマーNF80	ポンプ	カノ-V6-S

標尺 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色	相対密度	相対稠度	記号	標準貫入試験				原位置試験	試験名および結果	試料採取	室内試験	掘進月日	
									深 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数/貫入量 (cm)	N 値						
150.93	0.50	0.50	埋土	暗褐色				礫、不燃物混る黒ボク主体	1.15	1	1	3	30					
150.53	0.40	0.90	黒ボク	黒褐色				有機質に富み軟らかい	1.45	1	1	2	30					
150.23	0.30	1.20	軽石	赤褐色				今市軽石 高含水で軟弱	2.15	1	1	2	30					
			ローム	褐色				粘性中位、含水大 上部に軽石を混入 下部に粗砂の混入が多い	2.45	1	1	3	30					
148.23	2.00	3.20	軽石	黄褐色				今市軽石 φ2~5mm程度の粒状を多く含む 多孔隙で高含水である	3.15	1	1	3	30					
147.43	0.80	4.00	砂	灰褐色				φ2~7.5mm程度の円、亜円礫を主体とする 所々φ300mm前後の玉石を点在する 礫間は粘土及び砂により充填され密な堆積状態を呈す 7.5m以深で掘削水の逸水が認められる	3.45	16	23	11	50					
			砂	灰褐色					4.15	18	23	11	50					
									4.38	18	32	50	20					
									5.15	21	20	9	50					
									5.35	32	18	5	50					
									6.15	32	18	5	50					
									6.38	20	18	12	50					
									7.15	10	13	16	39					
									7.30	10	13	16	39					
									8.15	10	13	16	39					
									8.44									
									9.15									
									9.45									

<凡例>

柱状図および土質区分

試料採取方法

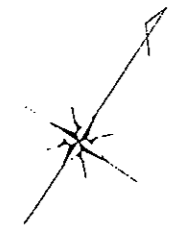
第1分類			第2分類			第3分類		
区分	分類名	図様	区分	分類名	図様	区分	分類名	図様
土質	礫 (G)	○	補助記号	砂質 (S)	●	岩石材料	硬岩 (HR)	
	礫質土 (GF)	○●		シルト質 (M)	—		中硬岩 (MR)	
	砂 (S)	●		粘土質 (C)	—		軟岩、風化岩 (WR)	
	砂質土 (SF)	●●		有機質 (O)	■		玉石 (B)	○
	シルト (M)	—		火山灰質 (V)	■		浮石 (軽石) (Pm)	△
	粘性土 (C)	—		玉石混り (-B)	○●		シラス (Si)	△●
	有機質土 (O)	■		砂利、礫混り (-G)	●●		スコリア (Sc)	▲
	火山灰質粘粒土 (V)	■		砂混り (-S)	●●		火山灰 (VA)	▲
高有機質土 (腐植土) (Pt)	■	シルト混り (-M)		—●	ローム (Lm)		△	
		粘土混り (-C)		—●	黒ボク (Kb)		■	
		有機質土混り (-O)	■●	マサ (WG)	■			
		火山灰混り (-V)	■●	表土 (Ss)	△			
		貝殻混り (-Sh)	○●	埋土 (Fi)	△			
				廃棄物 (W)	△			

- ① シンウォールサンプラーによる
- ② デニソンサンプラーによる
- ③ 貫入試験器による
- ④ フォイルサンプラーによる
- ⑤ ()による

備考

2-2 調査位置平面図

宇都宮市野沢町三の沢



- ◎ ボーリング調査地
- ⊙ (既存調査地)
- △ CBR調査地
- スウェーデン式
- サウンディング調査地

S = 1:2000

